

バッテリーの使用上のご注意

本製品はリチウムポリマバッテリー(以下、バッテリー)を使用しています。

バッテリーを使用するときは、次のことを必ず守ってください。取り扱いを誤ると、発熱、発火、破裂、液もれなどのおそれがあり、けが、機械破損の原因になります。

- ・ **バッテリーは専用の充電器以外で充電しないでください。**充電すると、バッテリー内の電解液が沸騰したり、ガスが発生して内部の圧力が上昇し、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ バッテリーを火の中に入れたり、加熱、分解、改造しないでください。ガラスシール部などが損傷すると、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ バッテリー液が目に入ると、目に障害を与えるおそれがあります。万一、バッテリー液が目に入ったときは、こすらず直ちに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- ・ バッテリー液を舂めたときは、すぐにうがいをし、医師に相談してください。
- ・ 針金などでバッテリーの+と-を接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。バッテリーの+と-がヘアピンなどでショート状態になり、過大電流が流れて、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ バッテリー液は金属を腐食させるおそれがあります。バッテリーの液漏れや異臭があるときは、すぐにバッテリーを廃棄してください。
- ・ バッテリーの外装ラベル(熱収縮チューブ)を剥がしたり、傷を付けないでください。バッテリーがショートして、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ バッテリーを落とししたり、投げないでください。強い衝撃が加わると、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ バッテリーを変形させないでください。ガラスシール部やベント部が損傷して、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ バッテリーを保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁してください。他のバッテリーや金属製の異物によってショートすると、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ 直射日光の当たる場所や、炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しないでください。発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。
- ・ 水でバッテリーを濡らさないでください。発熱するおそれがあります。
- ・ バッテリーを保管するときは、直射日光、高温、高湿の場所を避けてください。発熱、破裂、液もれのおそれがあります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させる原因になります。
- ・ バッテリーは、一般の不燃ゴミとして捨てることができます。ただし、自治体の条例などで定められているときは、その条例に従って廃棄してください。
- ・ 超音波振動をバッテリーに加えないでください。内容物が微粉化してバッテリー内でショートし、発熱、発火、液もれのおそれがあります。

バッテリーの輸送・保管時のご注意

バッテリーは、次のような場所に保管してください。高温・高湿の場所に保管すると、バッテリーの性能が劣化したり、液もれのおそれがあります。

- ・ 高温・高湿でないところ
- ・ 結露しないよう風とおしが良く、乾燥してあまり温度が上がらないところ
- ・ 温度 +5～+35 ° C で温度変化が少ないところ
- ・ 相対湿度 70%以下
- ・ 直射日光が当たらないところ
- ・ 雨水などがかからないところ

輸送中、乱暴な荷扱いは避けてください。へこみや変形が生じると、バッテリーの性能が劣化したり、液もれのおそれがあります。また、バッテリーを収めたケースが損傷すると、多数のバッテリーが混ざったり、+と-が短絡して、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。

輸送・保管時は、先入れ、先出しを励行し、長期間の在庫にならないよう注意してください。

バッテリーは、通常の温度・湿度の条件(+5～+35 °C、相対湿度 70%以下)では十分な貯蔵性を持っていますが、長期間の在庫によって性能が低下するおそれがあります。適切な在庫量と、先入れ・先出しを徹底してください。

使用上よくある注意点

本製品に付属のバッテリーは、リチウムポリマバッテリー定格3.7Vを3つ直列接続した品になります。**電圧10V 以下になるまで使用しないでください。**1つあたりのバッテリーの事を1セルと言う単位で呼びます。1セル3.0V を切ると過放電となり、使用できなくなります。Pi:Co Classic3で使われているバッテリーは3セルのため、本バッテリーを利用するときは、注意事項をよく守って、過放電、過充電にならないように取り扱って下さい。

バッテリーの電圧が9V以下になるまで使用してしまった場合、廃棄して下さい。9V以下になったバッテリーを充電した場合、発熱、発火、破裂、液もれのおそれがあります。